

平成30年5月19日

大塚けんじ市政報告会 報告書

松戸市議会議員 大塚 健児

日時：平成30年5月19日（土） 14時半～15時半

場所：ゆいの花公園

参加者：5名

【報告】

- 1 松戸市の市債残高について
- 2 街づくりについて
- 3 市長選挙について



## 1 松戸市の市債残高について

平成22年川井市長から本郷谷市長へと変わるが、そこが市債残高の底にあたる。本郷谷市長はいわゆる投資型予算編成を行うが、次世代に借金のツケをまわしてもいいのか不安が残る。

## 2 街づくりについて

東部地域は市内唯一人口密度増加地域であり、今後の街づくりがどうなっていくのか大変重要なポイントである。中でも、都市計画道路3・3・7号線の計画、北千葉道路の計画は大変重要で、道路ができれば、街づくりの内容も変わってくることは間違いない。そこで、道路建設について近況の報告を行った。また、旧65街区の施設建設について3月予算委員会の議事録を報告。『高齢

者施設はいらない、しかしもっとしっかりとした図書館が必要』という意見が大半であった。

### 3 市長選挙について

まもなく松戸市長選挙が近づいているが、大切なのは街づくりであると思う。川井市長時代は財政健全化計画により大幅な借金返済を行ったが、魅力的な街づくりを実現することはできなかったと思う。本郷谷市長は増える借金を気にすることなく投資を行うが、行き過ぎには注意をしつつも、低金利の時代を考えれば、あと4年間は本郷谷市政のやり方が正しいと思う。

(まとめ)

残念ながら松戸市立病院の建設問題が東部地域は尾を引く。しかし、前市長よりは街づくりが前進しているという声も聞こえてき、これからは音楽や文化的な面で松戸市が盛り上がることを期待しているとのこと。私も精一杯それに応えたいと思う。

以 上